

平成23年度第4回中原区区民会議

日時 平成24年1月18日（水）15：00～
場所 中原区役所5階 502・503会議室

午後3時8分 開 会

1 開会

司会 それでは、ただいまから平成23年度第4回中原区区民会議を開催させていただきます。

本日の会議の議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます石澤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本会議でございますけれども、過半数の委員が出席しており、川崎市区民会議条例第6条第2項により成立しておりますことをご報告いたします。また、会議公開条例に基づきまして公開で行われるとともに、会議録を作成いたしまして公開することとなりますのでご了解をいただきたいと存じます。

本日の会議に当たりましてご報告がございます。既にご存じのことと思いますが、区民会議の参与でございました田島信二県議会議員が1月7日にお亡くなりになりました。皆様とともにご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

なお、本日、吉房委員におかれましては、所要により欠席との連絡をいただいております。また、川島参与、原参与、東参与、吉岡参与、滝田参与におかれましては、所要により欠席の連絡をいただいております。

2 区長あいさつ

司会 初めに、中原区長の小野寺よりごあいさつを申し上げます。区長、よろしくお願いいたします。

区長 皆さん、明けましておめでとうでございます。中原区長の小野寺でございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本日は、大変お忙しい中、中原区区民会議にご出席いただきましてまことにありがとうございます。また、参与の方々も本当にありがとうございます。

さて、去年は、東日本大震災によりまして、広範囲にわたり、いまだにいろいろと復興のめどが立たないところもありまして、毎日のように報道関係でもその様子が報道されております。それにつきまして、被災地の方はもちろんのことですけれども、私たちも大変心を痛めておりますし、大変な悲しみを伴った次第でございます。昨日、阪神・淡路大震災が起きて17年目になりますでしょうか。そのようなことで、また改めて当時のことが語られましたけれども、それ以後の東日本大震災によりまして、私たちの日常、さりげなく、余りいろいろなものを感じることもなく過ごしているんですけれども、今回本当に自分の生きざまとか、お互いに協力し合うことの大切さ等を改めて感じた次第でございます。やはり命というものは大事なんだなということを改めて感じています。

こうした中でございますけれども、去年をあらわす漢字ということで「絆」とされたこ

とは大変記憶にも新しいことでございます。この字には、どんなことが起ころうとも人のつながりや信頼関係がいかに大切であるかということが込められており、災害の衝撃だけにとらわれるのではなくて、次に向かって進んでいこうということが含まれていると聞いております。前に向かって歩んでいかなければということを諭しているのではないかなとも思っております。

さて、新しい年を迎えまして、きょうは初めての区民会議となります。昨年と同様に地域における人との交流を基本として、きずなづくりを目指しながら課題の解決を図っていただければと思っております。また、今期区民会議の最終テーマでございます「中原区制40周年を迎えて」につきましても、区民会議を含めて地域が中原区役所とともに区制40周年を盛り上げていけるよう、取り組みについて審議していただければと思っております。

最後に、本日、傍聴の方にお越しいただいております。区民会議への関心をぜひ高めていただいて、これからもまた傍聴して、いろいろな意味でご意見を何らかの形で寄せていただけたらと思っております。ありがとうございます。

本日の会議がより実り多いものになりますよう、どうぞこれからの審議をよろしく願いたいと思います。

なお、風邪もはやっておりますので、皆様方もお体のほう、ご自愛ください。

では、よろしく願いたいと思います。

司会 続きまして、事務局より本日の資料の確認をさせていただきます。

事務局 事務局の企画課の綱島でございます。では、申しわけございませんが、座って資料の確認をさせていただきます。

それでは、まず初めに、次第でございます。

続きまして、別添1、席次表でございます。続きまして、別添2、委員及び参与名簿でございます。

続きまして、議題資料といたしまして、資料1が中原区区民会議中原区制40周年を迎えて（課題調査部会・運営部会審議のまとめ）でございます。

続きまして、資料2、検討テーマ「中原区制40周年を迎えて」取り組み事項（案）でございます。

続きまして、資料3、区民祭についてでございます。

続きまして、資料4、第3期中原区区民会議のスケジュール及び審議の流れでございます。

続きまして、参考資料といたしまして、まず、参考資料1、かわさき自治推進フォーラム2012の開催について。続きまして、参考資料2、中原区役所消防訓練への参加について。その他として、第2回課題調査部会及び第3回運営部会の会議録をそれぞれ配付してございます。

それと、本日チラシをたくさん添付させていただきましたが、まず最初に、かわさき自

治推進フォーラム2012のパンフレットでございます。

続きまして、同じく1月29日、自治推進フォーラムの中で行われます区民会議交流会のご案内でございます。これにつきましては後ほど説明をさせていただきます。

続きまして、シニアのための生き方講座、支えられ上手さん 支え上手さんになろう!!でございます。

続きまして、こちらピンクのチラシになってございます「井田地区寄り合い処サポーター準備会」のお知らせでございます。

続きまして、指定都市市長会シンポジウム in 川崎～分権時代にふさわしい大都市制度と川崎のまちづくり～のパンフレットでございます。

続きまして、なかはらアクトストリート2012のパンフレットでございます。

続きまして、中原区市民提案型事業募集のお知らせのパンフレットでございます。

最後に、川崎国際環境技術展2012につきましては、2月10日、11日、とどろきアリーナで毎年開催されているものでございます。ことしは中原区役所も参加いたしますので、ぜひ皆様お越しいただきたいと思っております。

事務局からの資料の確認は以上でございます。

司会 資料についてはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これからの進行は委員長にお任せしたいと存じます。鈴木委員長、よろしくお願いいたします。

鈴木委員長 それでは改めまして、皆様こんにちは。きょうは会議に先立ちまして、区役所の屋上の太陽光パネルなどを見て回りましたけれども、私もですが、初めてこんなものがあるのを知ったという方が多かったと思っております。これからだんだんこういう時代になっていくんだなという感慨がありました。今、大変乾燥しております、私もですが、のどがからからになったり、風邪を引かないようにみんなで気をつけて頑張っていきたいと思っております。

それでは、次第に従って議事を進めてまいりたいと思っております。

3 会議録確認委員の選任

鈴木委員長 まず、会議録確認委員の選任でございますが、前回は松原委員と松本委員でした。名簿の順で恐縮でございますけれども、今回は村山委員と矢野委員にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

4 議題

(1) 第2回課題調査部会及び第3回運営部会の報告

ア 課題調査部会

イ 運営部会

鈴木委員長 それでは「中原区制40周年を迎えて」につきまして、区民会議としてどのように具体的に取り組んでいくのか、これから審議してまいりたいと存じます。

まず、11月21日に開催されました課題調査部会につきまして、部会長でございます川連副委員長から報告をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いたします。

川連副委員長 それでは、報告をさせていただきます。11月21日に課題調査部会を開催し、第3のテーマである「中原区制40周年を迎えて」と「区民祭への区民会議の関わり」について審議をいたしました。参考資料として会議録が皆さんのお手元に配付されております。

まず「中原区制40周年を迎えて」に関しましては、資料1をごらんください。部会では審議に先立ち、10月19日に開催いたしました第3回区民会議の中で提案された取り組みの中から、各委員が区制40周年にふさわしいと考える取り組みやテーマを各自3点ずつ選ぶとともに、改めて新規の取り組みも提案してもらいました。今回、配付している資料1の2ページの真ん中の表がこれに該当いたします。その内容を詳しく記載したものが資料の3ページから9ページとなります。この中で、区制40周年を進める上でテーマの設定も重要であると考え、3ページの表からそれぞれの取り組みの趣旨や理由について集約した結果、区制40周年を迎えるに当たってのキーワードが見えてまいりました。4ページにその内容を示してあります。

アとして「地域コミュニティや人とのつながりを深める」、イとして「世代を超えて交流したい」、ウとして「未来に向かって」、以上の3つの要素に基づき、40周年を迎えるに当たっての課題について「世代をこえて人がつながるなかはらー未来に夢と希望を託してー」という1つの言葉を設定いたしました。これに取り組むべきテーマといたしました。このテーマに向けて40周年の記念事業を考えていくこととし、ただし、審議を進めていくためには40周年として中心となるものが必要であるとの観点から、2ページの右端の表に取組を活かす柱立てを示し、部会の委員から出された取り組みを生かすべく3つの柱を立てました。そのうち2 既存活動での取組と3 既存事業との協働につきましては、それぞれの活動の中で取り組んでいくこととなります。したがって、課題調査部会の中では市民報告会を1つの柱として位置づけ、審議の中心にいたしました。その中で、区民会議として実施可能なものについて抽出したものが12ページにまとめてございます。13ページでは、12ページにあるさまざまな取組を活用する方法として、こうすればどうだろうかというものを示しています。部会では、もっと具体的に市民報告会を組み立てていくこととし、多くの人に区民会議をアピールできるようにしたいと考え、タイムスケジュールを14ページのその1で、16ページでそれぞれの取組会場を示してあります。

以上のように、市民報告会を区民会議の主要な取り組みとして実施していくことが提案されました。また、今回抽出されなかった取り組みについては10ページと11ページにまとめてございます。それぞれ右端にその理由を示していますが、抽出されなかった取り組み

の中でも、取り組みの柱の中で実施が可能と思われるものもありました。また、区制40周年につきましては、区が行っている市民提案型事業として、広く区民から募集を行うのも1つの方法とされました。

次に、区民祭につきましては、これも部会の各委員が3点ずつ選び、資料2にまとめています。ただ、審議の中で、区民会議委員は区民祭にそれぞれの活動の中で参加しており、果たして区民会議として区民祭にかかわることが可能であるかどうか、また、パネルなどの展示だけで区民会議を知ってもらう効果があるのかという意見がありました。さらに、参加できなければ区民会議委員がそれぞれの活動の中で区民会議のアピールをしなければいいのではとの意見もありました。区民祭へのかかわりについては、結局結論が出なく、第4期区民会議の中で審議してもいいのではとのことで、継続審議といたしました。

以上が部会で提案された取り組みと審議内容です。

鈴木委員長 次に、12月26日に開催されました運営部会につきまして、副会長であります杉野副委員長から報告をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

杉野副委員長 それでは、12月26日に第3回運営部会が開催されました。この報告をさせていただきます。

運営部会では、今お話がありましたように2点ございまして、1点といたしましては、これがメインになりますが、「区制40周年の取組について」、2点といたしまして「区民祭について」、課題調査部会での検討内容及び区民会議の今後のスケジュールについて確認を行いました。参考資料として会議録が配付されておりますので、後ほどでも結構でございますので、目を通していただけたらと思います。

1点目の「区制40周年の取組について」、区制40周年に向けて、どういう位置づけで課題として取り組んでいくのかということで「世代をこえて人がつながるなかはらー未来に夢と希望を託してー」というテーマが課題調査部会から提案されました。また、取り組みに向け、市民報告会と既存の活動での取組と既存事業との協働の3本の柱を設定したわけでございます。メインになりますのは市民報告会だということなんですが、その中で、既存の活動での取組と既存事業との協働につきましては、各区民会議委員がそれぞれの活動の中で取り組んでいくことが報告されました。

次に、メインの市民報告会でございますが、区制40周年の取り組みの中心として、課題調査部会で抽出した各委員からの取り組みをできるだけ取り入れ、実施していくこととされ、課題調査部会からの報告も主として市民報告会の取り組み内容となっております。基本的には、課題調査部会からの「世代をこえて人がつながるなかはらー未来に夢と希望を託してー」というテーマにつきましては、区制40周年を1つの通過点として、人の流入が大きく、変化の著しい区の中で、世代間の交流や地域のつながりを深め、次世代に区の歴史等をつなげていくことに合致しているわけでございます。これも区民会議に諮ることとしました。

また、3つの柱立てにつきましては、区民会議として取り組むこととして妥当と考えました。特に市民報告会につきましては、区民会議の活動報告の場として、区制40周年を絡めながらいろいろと取り組んでいくことにより、区民に区民会議のアピールができるのではないかとということになりました。

課題調査部会から示された具体的な取り組みにつきましては、細部について議論すべき部分はあるものの、おおむね方向性としてはいいのではないかとされました。その中で、資料1の14ページ、15ページをちょっと開いていただきたいんですけども、その1、一番上の段に多目的ホールで行われる順番が書いてございますが、区民会議の活動報告を一番先頭に持ってきているわけでございますが、これを右側のように、コンサートの後で区民会議とシンポジウムをつけたほうがいいのではないかとというようなご意見もございました。一応2案をここに記載させていただいたわけでございます。一部の手直し等はありませんでしたが、資料1のとおり、区民会議に区制40周年の取り組みについて諮っていくこととしました。

次に、区民祭についてでございます。改めて課題が多く、本当に区民会議として区民祭にかかわることができるのかという点が審議の中心となりました。区民会議の中でもう1度各委員から意見を聴取したいと思っております。そういう形で結論を出したほうがいいのではないかとということで、区民会議に諮ることとしました。

最後に、今後のスケジュールにつきまして、2月16日に第4回運営部会を開催し、第3期区民会議の最終報告書の原案を検討し、3月の区民会議でその確認を行うこととされました。

以上が運営部会での審議内容でございます。

鈴木委員長 今お二方から課題調査部会と運営部会両方の報告をしていただきましたが、その件につきまして、もう既にテーマは、先ほどから何回もおっしゃっているように「世代をこえて人がつながるなかはらー未来に夢と希望を託してー」というテーマに決定させてもらったかどうかという案ですね。それについての審議と区民祭についての審議をもう1度。この前、区民会議の席上で区民祭について賛成と反対の意見が随分分かれていたんですが、総論的には皆さん賛成で、各論になると、じゃ、ご自分是可以できるのかというと、やっぱりできないというような意見が多かったと思われまますので、この2つにつきまして審議をしていきたいと思います。

大変資料が多くて、皆さんもちょっと大変だとは思いますが、資料1が中原区制40周年を迎えてという両部会の審議のまとめでございますので、これにつきまして何かご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

(2) 「中原区制40周年を迎えて」

全体意見交換

鈴木委員長 まず、資料1の中原区制40周年を迎えてに基づきまして審議していきたいと思えます。

まず、資料1の4ページ、テーマの設定が示されていますけれども、これにつきまして事務局から少し説明をお願いいたします。

事務局 中原区制40周年を迎えてというテーマの設定に至った経過につきまして簡単に説明をさせていただきます。

1ページお戻りいただきまして、資料1の3ページをごらんいただきたいと存じます。これは課題調査部会によりまして抽出された各テーマを表にまとめたものでございます。中で地域コミュニティですとか魅力発信、中原を知るなどの共通する言葉が出されております。次の資料4ページでは、それを各フレーズにまとめて「世代をこえて人がつながるなかはらー未来に夢と希望を託してー」というテーマの設定につなげているものでございます。40周年を1つの通過点といたしまして、人の流れが大きく、時代の変化の著しいこの中原区の中で、世代間の交流ですとか、地域のつながりを深めることと次世代に区の歴史などをつなげていくことが課題でありまして、区民会議といたしましても取り組んでいくことでもあると考え、課題調査部会及び運営部会での審議を踏まえまして区制40周年としてふさわしいテーマではないかと思っている次第でございます。

事務局からは以上でございます。

鈴木委員長 私、最初に、両部会長から聞きまして、すっかりこれでいくのではないかなというようなことで話してしまいましたが、皆様の忌憚のないご意見をお聞きして、その上で審議ということになります。ご意見がありましたらお願いしたいと思えますが、いかがでしょうか。

村山委員 この前、ブータン国王が来日されておりました。ある雑誌を見ていましたら、日本にブータンの人に来て働いているわけなんですけど、よく都心の電車がとまるのは何だろうというような話がありました。それは自殺なんですよ、自殺で電車がとまってしまうということをおっしゃいましたら、その人が言うにはブータンには自殺はないということなんです。家庭内でのコミュニケーションが非常にうまくいっている。マンションに入っても、そのマンション自体が家族というようなことで、非常に地域コミュニティがしっかりしているから自殺はないんだというような話がありました。

12月に、私も町内会にいろいろ駆り出されて、もちつきだとか、しめ縄づくりだとか、いろいろなことをやっています、今までは地域のことに余り関心がなかったんですが、そういうものに参加すると、友達というか、いろいろな方とお話ができ、また、道路で会ってもあいさつができるということで、この地域コミュニティというのは非常に大事だと思うんです。ですから、この40周年を迎えてというイベントを大々的にやるというのは非常に大事ではないかなと思うんです。私は再開発地域のNPOに属してまして、現在4,000世帯の1万人ぐらいは新しい住民が入っているんですが、マンションの部屋に入っ

てしまうと非常に孤独なんですね。音も聞こえない静かな中で。ですから、小さいお子さんを持っている方などは外へ出てくるわけです。きょうも松本委員がやっているパパママパークに20組くらいの新しい方が来ています。そういうことで、この40周年を迎えるイベントはぜひ盛り上げてやるべきだと思います。

鈴木委員長 テーマ的にはこの「世代をこえて人がつながるなかはらー未来に夢と希望を託してー」というので進めていいと村山委員はお考えでございませうか。

村山委員 はい。

鈴木委員長 今、村山委員から、要するにコミュニティがとても大事である、そのために何か大きなイベントをすることは人と人とのつながりや結びつきがより深くなるのではないかという大変貴重なご意見を聞きました。ブータンのイケメンの国王様と美人の女王様が幸せ度満杯で我々に幸せを振りまいてくれたので、私たちもちょっとあやからなければなどと思っております。

今の村山委員のような意見で結構でございますので、ほかにも出していただければ、あるいはまた、テーマをこのように変えたらどうか、追加したらどうかというようなご意見もございましたらお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

無いようですので、「世代をこえて人がつながるなかはらー未来に夢と希望を託してー」というテーマの設定を決定させていただきまして、これに基づきまして区民会議が取り組めるものとして、資料1の2ページをごらんいただくと、取り組みを活かす柱立てということで3本、1、2、3と書いてございます。この会議では1 市民報告会を中心に審議してまいりたいと思っております。区民会議としてできることを区制40周年に絡めてこの市民報告会でいろいろとやってみてはどうかということでございます。2 既存の活動での取組と3 既存事業との協働につきましては、先ほど部会長からも説明がありましたように、各委員がそれぞれの活動を通じてやっていただければいいということになっております。

12ページから16ページにかけてまして市民報告会での取り組みが示されております。これについて事務局から少し説明をお願いしたいと思います。

事務局 それでは、事務局からご説明をさせていただきます。

12ページをお開きいただきたいと思っております。今回は第3期区民会議ということで、任期が今年の6月末です。毎回各期が終わった段階で今までの取り組みの報告を含めた市民報告会をやっています。先ほど委員長からお話しがございましたように、この市民報告会の中で区制40周年の取り組みをしたらどうかというような議論がございまして、それをまとめたものが12ページから13、14、15ページという形でございます。この市民報告会を区民会議の区制40周年に向けた取り組みとするために、各委員からいただいた意見を12ページの中でこういったことが実施可能と思われる形で取りまとめているものでございます。

隣の13ページにつきましては、12ページの取り組みに基づきまして、コンサートですと

かマナーアップポスターの展示など、それぞれ具体的に想定しているものを記載してごさいます。

1 ページめくっていただきまして、14ページ、そして15ページではそれぞれの会場を、それぞれの催し物とその時間をその1、その2でお示ししてごさいます。先ほど杉野副委員長からもお話しがごさいましたように、その1が課題調査部会案でございまして、その2につきましては運営部会案でございまして。先ほど区民会議の報告会を先にしたほうがいいのではないかというのが課題調査部会のご意見で、運営部会では区民会議の報告会は真ん中にしたらどうかというその違いでございまして。

次の16ページをお開きいただきたいんですが、16ページはそれに沿った会場ですね。中原市民館で実施する予定でございまして、中原市民館の会場図となっております。この市民報告会につきましては、第3期区民会議の報告を基本といたしまして、区制40周年の取り組みとして実施されることによって、より効果的にアピール性の高いものになるのではないかと期待できると思っております。

市民報告会については、これから計画していくんですが、効果的に進めていくために区民会議の委員の皆様のご参加により、準備会的なものを設置して、検討していただければと事務局では考えているところでございまして。

鈴木委員長 今、事務局からの説明がありましたけれども、12ページから16ページの取り組みの内容につきまして皆様の意見をいろいろといただきたいと思っておりますが、いかがですか。ご自分たちの既存の活動での取組、自分の団体の活動の中でできること、そのほか何か40周年に向けて意見があれば話していただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。市民報告会でやるとしたら大体このような感じでということで、何をするのか、構成をどうしていくのかというような組み立てなどもこれから計画していきたいと思っておりますので、各委員の取り組みがあれば、ぜひその中で、うちの団体では40周年に向けてこういうことをしたいということがありましたら、ぜひお聞かせ願いたいと思っております。いかがですか。

そうは言われても、こういう資料の中で意見は出しにくいかなと思っておりますので、一応テーマは「世代をこえて人がつながるなかはら ー未来に夢と希望を託してー」にして区民会議と一緒に進んでいきたいと思うんですけども。ぜひ大いに盛り上げていきたいと考えているんですが、この人数、19人全員で意見を集約しようとしてもなかなか今ご意見が出てこないもので、もしできれば事務局と協働で実施準備会のような小さな核になる会をつくってみたいと思っております。そこで案をつくりまして進めていけばいいのかなと。皆様からこういう意見があるんですけどもというふうに言っていただいて集約していくような形にしたいと思うんですが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、皆様から賛成いただきましたので、我こそは準備会の実行委員になってもいいという方がありましたら挙手願いたいと思っておりますが、いかがですか。――まず、村山委員、松本委員、藤嶋委員、寺岡委員、反町委員、川崎委員、岡本委員、大下委員、稲富委

員、板倉委員ですね。私も入れていただきたいと思いますので、そうしますと、この11名で実施準備会として、今後の市民報告会に向けまして内容を詰めていきたいと思ひます。皆様、よろしいでしょうか。11名ということで大世帯ではございますが、進めてまいりたいと思ひます。これから5月に向けて何回か会議を持っていきますので、なかなか時間が合わない方もいらっしゃると思ひますが、その辺は万障お繰り合わせの上、我々の報告会のためにお願ひしていきたくと思ひます。よろしくお願ひいたします。

次に、資料2について確認していきたくと思ひます。今まで審議してきました第3のテーマである「中原区制40周年を迎えて」の取り組み内容について実施スケジュールを含めて取りまとめしております。これについて事務局から少し説明をお願ひいたします。資料2です。よろしくお願ひいたします。

事務局 それでは、資料2につきまして説明させていただきたいと思ひます。この説明につきましては、コンサルタントとして入っています石塚計画デザイン事務所から説明をさせていただきます。

石塚計画デザイン事務所 それでは、資料2についてご説明いたします。

資料2は表の形になっておりまして、縦軸としては大きく4つに分けております。1つ目は、地域・区民・区民会議の取り組みというものです。2つ目、裏面に行きまして、区民と行政の協働による取り組みというもの、縦の3つ目としては行政の取り組み、そして4つ目はその他として区民祭の取組というものを書いております。表の横軸としては大きく4つに分けております。取り組みの内容（分野）と具体的な実行方法（解決策）、実行主体（協力依頼団体）、そして実施スケジュールを書いております。

中身を具体的にご説明いたしますと、地域・区民・区民会議の取り組みとしてはイベント。イベントの中にも、シンポジウム（A-1）、音楽会（A-2）、交流イベント（A-3）、中原の産品、製品展示会（A-5を変更）と書いております。このA-1やA-2というのは、資料1の5ページ以降のカテゴリーに書いてあるアルファベットと対応しております。

シンポジウム（A-1）としては、具体的な話は課題調査部会や運営部会で話されたものと同じですが、市民報告会で中原区区民会議の活動報告や中原の今と昔・そして未来などを語るシンポジウムの開催などを実施していくとしています。同じく音楽会（A-2）につきましても市民報告会で実施を目指していくと。交流イベント（A-3）につきましても、取り組み方法としては2通りでして、夏祭りなどで交流の場を提供し、既存の活動で実現していくようなものと、市民報告会で交流のイベントを開催していくというものがあります。中原の産品、製品の展示（A-5を変更）、それから中原のPR（E-4を変更）、メッセージ、啓発活動（E）、調査、研究（F）として再開発等による人口増や展望がわかるデータ（F-3を変更）の展示や、中原区の実態や課題を把握するために各種統計データを取りまとめるというものにつきましても、市民報告会で取り組みを実現してい

くということで整理しております。

その他、既存の活動での取組としましては、区民会議のこれまでのネットワークを活用し、それぞれの事業活動の中で取り組みの実現を図っていくものを整理しております。

裏面では、区民と行政の協働による取り組みとしましてイベント（A）を書いておりません。作品展（A-4）として、市民報告会でエレベーター前のホール等を活用して子どものマナーアップポスター等の展示をする、防災意識の向上（A-6を変更）ということで防災ガイドブックの配布や防災に関する報告を行うというのも市民報告会で実施をしていきます。ミュージカルの公演（新規に設置）としては、中原区の歴史や風土にちなんだミュージカルの演目を実施するというものでありまして、これは既存事業との協働や市民からの提案事業の実施を検討していく中で実現を目指していくものとしております。

次に、行政の取り組みとしてはシンボルマークの活用ということで、イベント等でシンボルマークを使った旗を作製し、等々力公園内にポールを設置するような取り組みの実現を検討していくということ。記念写真集の作成・発行（新規に設置）としては、区制40周年記念写真集を作成し発行していきます。区制40周年の冠を付した事業の実施ということで、これも既存事業の内容に応じて取り組みを実行していくとしています。

その他としては、区民祭の取組ということですが、具体的なものは今後の第4期内でも検討し、実施に向けていくということで整理しております。

鈴木委員長 今の説明につきまして、何かご質問とかございますか。大丈夫でしょうか。大変わかりやすい説明でございました。

（3） 区民祭について

鈴木委員長 それでは次に、区民祭についてですが、資料3にありますようにさまざまな取り組みが記載されております。また、運営部会からの報告にもありましたように事務局も区民祭当日は役割を担っているということと、区民会議委員が本当に単独でかかわることができるのか、それぞれの活動の中で個別にかかわっていくことが可能なのか、実際にみずからができるのか、さまざまな課題が実は出ております。次回の区民祭は我々ではなく、次の方たちにはなりますけれども、仮に我々がやるという、今の現状でいいと思うんですけれども、できない場合も含めてご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。これにつきましては本当に具体的に意見をいただければなと思います。この資料3を見ながらで結構でございますので、意見をいただければ。いかがでしょうか。

藤嶋委員 実際としまして、やはり区民祭でいろいろな役をやっておりますので無理だと思います。今まで区民会議に在籍していた第1期、第2期の区民会議委員の方たちにもぜひご協力願って、その人たちを中心にやっていただいたほうがかえって事がスムーズに行くのではないかなと思いますが。このメンバーだけだと相当あちこち引っ張られると思います。

鈴木委員長 第1期、第2期の区民会議委員の方に声をかけて、第1期、第2期の区民会議委員の方を中心にやっていただくという意見でございますが、この意見につきまして何かございますか。

藤嶋委員 中心でなくても、その方たちにもお手伝いという形で……。

鈴木委員長 中心ではなくて、第1期、第2期の区民会議委員の方にも手伝っていただくという。中心はあくまでも現役の区民会議委員ということですね。

藤嶋委員 はい。

鈴木委員長 じゃ、今の意見につきましていかがでしょうか。

反町委員 課題調査部会でも一部申し上げて、川連部会長からご報告いただいたことも含まれるんですが、やはり区民会議の現役のここにいるメンバーの皆さんほとんどが区民祭で既にもう大変重たい役割というか、責任を持って当たらなければいけない役割をお持ちだと伺っております。私自身もやはりそうございまして、40周年ということで、何か区民会議として区民祭に参加できればというところは非常に大事かとは思いますが、現実的のところでは私自身が参加できないというところもあり、また、そういった方々が大半を占めるということもありまして、現実的にだれができるのかというところが非常に難しいのかなと思っております。実際資料3の一番上に書いてあります、例えばパネル展示なんかをやることに、もしかしたら意義があるのかもしれないんですが、大変大勢の人でにぎわう区民祭ではございますが、物すごい人がいても、パネル展示とか、いわゆる人気のないブースに関しては非常に閑散としてしまうというか、全くがらがらになってしまうような状況というのも、いろいろなケースで見てきておりますので、そういうことを考えると、今回の状況で無理をしてやる必要はないのかなというふうに感じているのが正直なところです。

鈴木委員長 パネル展示につきましては、例えば区民会議市民報告会当日にパネル展示のコーナーを設けても別に構わないわけです。特別なパネルをつくらなくても、今までの区民会議だよりをパーっと張って、それをパネルにして見ていただくということも可能です。反町委員の意見は、まず、自分自身が参加できない、協力できない、あれだけの広いところで大変にぎやかではあるけれども、閑散としているところがあって、その閑散としたものになる可能性もあるのではないかということで、区民会議では新たに組み込まなくてもいいのではないかというご意見です。

大下委員 私の場合は逆に賛成というところで、以前から区民祭を利用するのはとてもいい機会だという考えを持っております。こちらの区民祭への参加の仕方なんですけれども、7世代間交流のテナントの出店というところで、休憩所として何かそういったスペースに区民会議の委員が、かかわり方としてはいろいろあるんですが、まずは休憩所のような形で場所を確保させていただいて、その中にそちらを利用されている方たち同士での交流のスペースができればありがたいなと思ひまして、ご提案させていただいております。

ただ、そちらに参加できる方というのはやはり限られてしまうというところで、もう少し期日が迫ってからでないと確定とかはできない、スペースを確保するに当たっては、私も別の団体として区民祭には参加させていただいているんですけども、催し物広場の中のスペースというのは、しかるべき手続きがございますよね。既にもうほとんど催し物広場のほうに参加される団体というのは固定されている中で、区民会議として、そのスペースが果たして確保できるのかという心配な点もございますが、基本的には参加できる方向で何とか考えていけたらと思っております。

鈴木委員長 大下委員はその場合に出席もしくは協力できますか。

大下委員 終日すべてというわけにはまいりませんが、時間帯的にはそういった時間を確保したいと思っております。

鈴木委員長 休憩所として世代間がくつろげるような場にしたらどうかという意見が出ました。ただ、区民祭はかなり早い時期から手続きが必要です。岡本委員、あれは何月でしたか。

岡本委員 新しい団体が入るときは、私たちの例を挙げて申し上げますと、私たちもたくさんのところを借りていますので、新しい団体が入る場合はその辺を少し小さくしてくださいということで、どれだけ入り込めてくるかということなんですけれども、いつか行政が区民祭に参加した場合は、ほかの場所を借りてしたんですけれども、やっぱり人の流れがあまり入ってこないというところもあります。

私もついでに言わせていただきますが、私もしたらいいのではないかということは賛成は賛成なんですけれども、私自身がどうしても動けないということがありまして、その辺が一番の問題ではないかなと思っております。

鈴木委員長 総論としては、正直言って皆さん心ではやりたいと思っております。ただ、実際にご自分が出られるかどうかということでもまず無理、もう1つは会場の問題もあります。それから、去年はエコカフェで市民ミュージアムのところでもやりましたけれども、来年度はわからないということなので、そうすると、全く場所もないということですね。あの催し物広場しかない。そうすると、催し物広場というのは10年来場所が決まっているということで、大変厳しい状態だと思うんです。区民祭、確かに人は来ます。1万5000人も、2万人も、すごい人が来ると思うんです。小さな町が1つ移動してくるぐらい人は来ますけれども、そこで区民会議をアピールして、どれだけの効果があるのか、市民報告会というまさに区民会議のためだけにやる報告会で力を入れて、各人がそれぞれ、いろいろなブースで区民会議をアピールしたほうの効果のほうが実は高いのではないかな。冷静になって分析すれば、1万5000人対、例えば3000人だとしたら、1万5000人のほうでしょうけれども、流れてしまう人たちと固定で見てくれる人たちの確率からいうと全然違うのではないかなとも考えるわけです。そういう点で、反町委員の意見というのは実は私たち全員が思っていることではないかなというふうには思いますけれども、まだご意見が

あればお伺いしたいと思います。区民祭についていかがですか。

松本委員 私は第1期、第2期の区民会議委員ですけれども、せっかく区民が集まる機会なので、区民会議というのは皆さんに知っていただきたい。だけれども、委員の皆さんが忙しいということで、それぞれ個々に活動する中で例えばテントにシールを張るとか、委員が腕章をつけるとかして、区民会議というものが皆さんの目に触れるようにPRすることは必要かなと思ったんです。それぞれ出店して、資料をお渡しするグループもあると思うんですが、そういうところに区民会議だよりも置いていただいて、一緒に……。ここは代表をやっている委員が来ているんですけれども、団体で来ている方はそれぞれの母体があるわけなので、その活動でやはり区民会議というものをもうちょっと浸透させるような協力を仰ぐというのも1つの手かなと思ったんです。ということで、どこかしらでPRはしていきたいと思います。

鈴木委員長 今の松本委員の意見で、先ほども出ましたよね。3つの柱のうちの2と3がそういうふうになっておりましたが、それを区民祭にそっくり当てはめると。ご自分の団体、例えば私と岡本委員の団体は隣り合わせになっておりますので、両方で区民会議のアピールをするようなコーナーを設けるということも、やろうと思えばできないことはない。改めてブースをつくるのではなく、既存の団体。それから、私たちは第1期、第2期の区民会議委員になりますけれども、次の新しい委員の人たちもそれぞれの団体の代表の方。公募の方もいらっしゃいますけれども、そういう方たちもそういうアピールをすればということで、松本委員の意見を1つの案として、検討していければと思いますが、いかがですか。今ここで話しても、多分この意見から行き来ができないのではないかと思いますので、これは課題調査部会でも次に預けるということでしたので、次の区民会議に預けるということにしたいと思いますが、いかがでしょうか。——では、そのようにさせていただきますと思います。

(4) 今後のスケジュール

鈴木委員長 次に、今後のスケジュールにつきまして事務局から説明をお願いいたします。

事務局 それでは、今後のスケジュールにつきまして事務局からご説明させていただきます。

資料4をごらんいただきたいと存じます。まず、来月、2月16日（木）に運営部会を開催したいと存じます。この運営部会につきましては、先ほどから出てございますように第3期区民会議の最終報告の作成に向けてご審議をいただければと思っています。

続きまして、3月には第5回区民会議を開催いたしまして、運営部会での審議を受けまして、最終報告書の原案を審議していただいて確認を行っていただければと思っています。第5回区民会議につきましては最終報告書のまとめの関係もございますので、なるべ

く早目に開催できればと考えております。できれば3月19日（月）に開催したいと存じます。時間は午後2時からということで、本日と同じ会場で考えてございます。ご都合をお聞かせいただければと思います。よろしく願いいたします。

鈴木委員長 今回のスケジュールについて事務局に何か質問などございますか。大丈夫でしょうか。

5 報告事項

鈴木委員長 最後に、事務局から連絡事項などがございますでしょうか。

事務局 それでは、事務局から何点か連絡をさせていただきます。

まず最初、参考資料1に添付してございますかわさき自治推進フォーラム2012の開催ということでございます。週をまたぎまして、1月29日（日）、高津市民館でかわさき自治推進フォーラム2012を開催いたしまして、その中で午後3時35分から区民会議交流会を開催いたします。昨年も計画をしておりましたが、東日本大震災の発生もございまして、中止となったものです。この区民会議交流会でございますが、各7区から3名の代表委員の方が出席していただきまして、意見交換を行ってまいります。議長につきましては高津区、副議長につきましては多摩区からの委員がそれぞれ就任します。中原区区民会議でございますが、鈴木委員長、川連副委員長、杉野副委員長がそれぞれ出席いたします。議題ですが、先ほどから出ていますように区民会議が地域で広がるためにはというのが今回テーマでございます。ここにいらっしゃる区民会議の委員の皆様、そして各団体にも自治推進フォーラムを含めた区民会議交流会のチラシをお手元に添付しておりますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加をいただければと思っております。

続きまして、もう1点、資料にはないんですが、子育てアンケートの報告をさせていただきます。

子育てアンケートにつきましては、第2期区民会議のテーマで、地域における子育て応援体制づくりとして、子どもの健診の時期にアンケートをとったらどうかということで、区民会議の委員の皆様のご発案で事務局と委員の皆様が一緒になって10月21日から12月16日まで、計14回。ちょうど季節が秋から寒くなる段階で、皆様大変寒い中、ご協力いただき542件の回答を得ました。配布件数は930件、回収率は58.3%でございました。現在、集計作業を行っており、次回の区民会議では結果報告をさせていただきます。事務局からのご意見を言わせていただくと、 TENT を組んで、毎回毎回区民会議の委員の皆様が区民会議の札をつけて交代で、健診のときにアンケートをとっていただいて、健診を受けに来られる区民の皆様も非常に協力的で、区民会議でこういったアンケートとっているということで、非常にアピールができたかなと考えております。もちろん、このアンケート結果につきましては、区民の皆様にも広く周知をさせていただくと同時に、区民会議の委員の皆様にも各団体のほうにも、逆に子育てをしている側の人が、行政とか子育てに関す

る団体に対してどういうことを望んでいるかというような質問も設けてございますので、ぜひこれからの事業にご活用いただければと思っている次第でございます。

もう少し事務局から言わせていただければ、こういった地道な活動を区民の皆様とマンツーマンで触れ合いながらやっていると、非常に区民会議のアピールとかPRにつながるのではないかと。単なるアンケートを対象の区民の方に郵送で回収するのではなくて、1人1人……。小さなお子さんがいて、区民会議の委員の皆様が丁寧に子どもさんをあやしながら、お母さんといろいろ話しながら触れ合う中でこういったアンケートを行い、その結果が区民会議の地道な活動という形で今後つながっていければと事務局としては思った次第でございます。

第3期区民会議は、この40周年のテーマで一応終わることになりますが、また来期、第4期に向けて事務局もなるべく区民会議の委員の皆様と外へ出て、区民の皆様と直接お会いしながら地域の課題について、顔と顔が触れ合えるような中原版の区民会議につなげていけたらと。感想でございますが、区民会議の委員の皆様からもそういったご意見をいただいて、地道な活動ではございますけれども、こういった形を通じて中原区区民会議をどんどん広めていけたらと考えてございます。

もう1点、総務課長から中原区役所消防訓練への参加についてご説明させていただきます。

事務局 総務課の諏佐と申します。どうぞよろしくお願いたします。私からは、区役所で実施する消防訓練への参加のお願いでございます。座って説明させていただきます。

参考資料2をごらんください。一番最後のページです。お願いの冒頭で大変恐縮ですが、2点誤植がありましたのでお願いたします。最初の「区役所では」の行、「来年3月」ではなくて「本年3月」でございます。1 概要の冒頭「3月11日に発生した東日本大震災」は「昨年3月11日」でございます。この2点、訂正をお願いたします。お願いの冒頭での訂正で恐縮です。

それでは、内容の説明をさせていただきます。区役所で実施する消防訓練へ、ぜひ区民会議の委員の皆様、区民会議の委員が属する団体の皆様にも参加いただくようお願いをしたいと思います。

1 概要については書いてあるとおりですので省略させていただきます。

2 日程ですが、3月9日（金）午後9時40分から正午まで、都合のつく方はぜひご参加をいただきたいと思います。

3 訓練想定ですけれども、3月の区役所は大変な繁忙期です。5階ではこういった会議などが実施されておりまして、多くの区民が来庁しているという状況を想定しています。午前11時ごろに震度6弱の地震が発生して、直ちに来庁者の方々、市民、職員の安全を確保する必要があります。ただ、揺れは収束するんですが、停電、さらに4階から火災が発生したということで、余震に注意しながら来庁者を避難させるという訓練を想定して

ございます。

4 訓練概要については書いてあるとおりですので省略させていただきます。

5 訓練スケジュールですが、ただ、訓練に参加するのではなく、講演会、報告会、訓練という大きく3本立てに考えてございます。最初に、午前9時40分から川崎市の危機管理アドバイザーの大貫先生をお招きしまして、プロフィールに書いてあるとおりですが、「大規模地震発生時における中原区の被害想定と対策について（仮題）」で講演をお願いしています。

次に「被災地での行政事務支援について（仮題）」、現在も被災地へ職員が支援に入っておりますけれども、どんなことをやってきたというようなことを何人かの職員に報告させていただきたいと思えます。中原消防署の職員ですが、何回かに分けて現地に入っておりますけれども、「被災地での救援活動について（仮題）」の報告をさせていただきたいと思っております。午前11時10分ごろから地震が発生したという緊急庁内放送をかけまして、実際に避難訓練、消火訓練、通報訓練などをさせていただきたいと思えます。

講演会へぜひご参加いただきまして、少なくとも80人ぐらいは集めたいと考えております。市政だよりも掲載をする予定です。職員以外の参加者の方々には記念品をお持ち帰りいただく予定でございます。ご都合をつけていただいて、実際に市民の方と一緒に行動する訓練はやったことがないものですから、ぜひ実りのある訓練にしたいと思えますので協力をお願いしたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

事務局 先ほどは簡単にご説明した自治推進フォーラム2012のことをもう少し詳しくご説明させていただきたいと思えます。

お手元のパンフレットカラー版と色刷りの薄グリーン、区民会議交流会ということで、こちらのほうをごらんいただきたいと存じます。

かわさき自治推進フォーラム2012ということで、昨年は東日本大震災の関係で中止になりました。1月29日（日）13時から17時半で、場所が高津市民館です。ノクティ2（丸井ビル）の12階でございます。

基調講演として、ここに書いてございますように13時5分から14時5分ということで、講師は中西哲生さん。委員の皆様は既にご承知だと思えますが、元川崎フロンターレの選手でございまして、日曜日の「サンデーモーニング」にコメンテーターで出ている方です。中西さんからまず、大ホールで「人と地域の結びつき～川崎フロンターレでの経験から～」というテーマで、先ほど区長からあったように「絆」、地域との結びつきということで、フロンターレでの経験から講演をいただくことになってございます。

次に、裏面を見ていただくと、中西哲生さんの基調講演が終わった後、同じく大ホールで14時10分から15時20分でパネルディスカッションが開催されます。テーマにつきましては、「開かれたコミュニティづくりを考える ～地域での『つながり』の事例から～」で、

3団体から事例発表ということで、まず最初に、市民活動をつなげる、地域のたまり場づくり、NPO法人ぐらす・かわさき事務局長の田代さん、次がスポーツが育む仲間づくり、地域づくりということで、NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF副理事長の菊地さん、次が地域における見守り・つながりの輪ということで、池上新町見守り・つながりの輪代表、斉藤さんのお三方が事例発表いたしまして、市民活動センターの小倉理事長がコーディネーターとなってございます。

その後、大会議室へ移りまして、区民会議交流会を15時35分から17時15分まで行います。意見交換のテーマは先ほど私からお話しさせていただきましたように、实际的にこういった区民会議の提案がどうしたら地域で広がるのか、地域で広がるための方法について各区民会議の委員の皆様により意見交換をしていただきます。資料にはないんですが、その意見交換の前に各区民会議、川崎区から麻生区まで7区あるんですが、どんなような区民会議の取り組みをやっているかという各区ごとの報告がございます。もちろん中原区区民会議の成果、取り組みも、パワーポイントでご説明をさせていただくことになってございます。そういう形で自治推進フォーラム2012の中で区民会議交流会が開催されますということで、中原区につきましては、先ほど申しましたように鈴木委員長、川連副委員長、杉野副委員長の3名にご出席いただくんですが、ぜひ区民会議の委員の皆様もご参加いただいて、また、ほかの区ではこんなことをやっているのかというのもぜひ聞いていただいて、中原区区民会議、さらには各団体の活動に生かしていただければと思います。

事務局からは以上でございます。

鈴木委員長 きょうは珍しく時間が大変ありますので、皆様から、先ほどの子育てアンケートに参加した感想でもよろしいですし、あるいは、実は今、事務局からも説明があったんですが、区民会議交流会があると。割と皆さん、ちゃんと行政がつくった文章を読むという形がとても多いんですね。私は前に1回出たことがあるんですけども、みんな自分の言葉ではなく、行政が書いたとおりに読んでいて、ちっともおもしろくなかったのが私の感想でございまして、私は私の意見を言おうと思っておりますが、皆さんも、よし、鈴木、中原はこういうことを言ってくれというようなことがございましたら、ぜひお聞かせ願いたいと思います。余り長々だとまた時間オーバーということになりますので、ほどほどのところで順番にいきたいと思います。よろしいでしょうか。子育てアンケートをした感想でもよろしいし、区民会議に中原をアピールしてこいというご意見、どちらでも結構でございます。

まずは青木委員からどうぞ。

青木委員 子育てアンケート、2回ほどやりましたでしょうか。皆さん本当に熱心に回答してくれていました。嫌だという人はほとんどいませんでした。

中原区の子育て支援事業というのは市内7区の中で一番だと思うんですね。資料の中にも、高齢者のほうに余りウエートを置いていないのではないかというのがちょっと書いて

ありました。あれはちょっとよくわからなかったんですけども、いずれにしても、中原区役所のこども支援室が窓口になって、保健福祉サービス課のこんにちは赤ちゃんとかの2つを中心にして、中原区の子育てサロンがよく充実して、何年かすればこれが本当に子どもの健全育成に役立って、子どもの非行とか、犯罪とかがなくなればなという思いで私も一生懸命やっているところです。

板倉委員 子育てアンケートは回数が少なくて大変申しわけなかったんですが、感じましたのは、若いお母さん方が物すごくまじめに回答していただけたということ。それから、お子さん方の面倒を非常によく見ているという。新聞や何かに出ているのと大違いという感じがしました。

中原区で宣伝をしていただきたいというのは、今、1,000人ワークショップということで環境関係で小学校5校を選んで、最後の1つ、大戸小学校が残っているだけなんですけど、これはもう700人近くまで集まっていますので、この辺の宣伝と、やはり川崎市の真ん中にあるので、できれば中心的役割ができるように進めていったらいいのではないかなと。また、そういう話をしていただきたいなと思っています。よろしくお願いします。

鈴木委員長 わかりました。

稲富委員 アンケートの関係は急にキャンセルもあってご迷惑をかけてしまったんですけども、参加したときの実感は、先ほどあったとおり、皆さん積極的に協力していただけたなという感想です。特に「何のアンケートですか」と言われたときに「子育て支援のための」と言うと、もう積極的に「じゃ、わかりました、やります」という形でやっていただけたので、いい取り組みになったと思いますし、それが区民会議でということも伝えましたので、小さいですけども、やはりアピールにはなったかなと感じています。

区民会議交流会の方は、私、当日出席できないんですけども、ぜひ委員長のいつものいい報告をしていただければと思いますので、よろしくお願いします。

大下委員 まずは、子育てアンケートのときなんですけれども、私は子育て代表としてこうして参加させていただいているんですけども、実はもう先輩になってきたのかななんて実感しながら、若いお母様方からいろいろなお話が伺えたり、アンケートをとりながら、小さなお子さんたちと触れ合うことがとても楽しかったです。こういった機会を設けていただいていたありがとうございました。

そして、区民会議のことでPRということなんですけど、この区民会議では、中原区だけなのか、ちょっとわかりませんが、今回のアンケートもそうですし、イベント等にたくさん区民会議の皆さんが参加されていて、その中で私も仲間に入れていただいて、ちょっと楽しみになっているところもありますので、そういった区民会議委員同士のコミュニケーションがとれてきているのではないかと感じておりますので、そういったことは会議を進行していくところでもすごくエッセンスにもなっていることをPRしていただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

鈴木委員長 わかりました。

岡本委員 アンケートに参加させてもらって、ありがとうございます。私たちのイベントと一緒にさせてもらいまして、子育てふれあいカフェを反町委員の団体と一緒にさせていただいたときに、おやつを出したんですけれども、そのおやつに皆さん興味を持ってくださったので、たくさんの方にアンケートをとらせていただいて、楽しみながらさせていただけたということが、私たちの活動も併せてできたということで非常にうれしく思います。

健診の後ということだったので、そこに目をつけてくださって、すごくよかったのではないかなと思います。お母さん方も自分の子育て支援にかかわるということで非常に熱心に協力してくださったので、その辺が大変よかったのではないかなと思って、今の大下委員のように楽しく参加させていただきありがとうございます。

川崎委員 子育てアンケート、とても懐かしく思いながら、遠い過去のことを思い出しながら参加させていただきました。子どもたちはやっぱりとてもかわいくて、私はどちらかというと、乳幼児のほうしかお手伝いできなかったんですけれども、ぷよぷよの新生児を連れてきて健診を受けることはお母さんたちにとって本当に大変なことなんですけれども、はたで見ながらでも、反面、やっぱりもうちょっと効率的にと思いながら、見させていただきました。アンケートにつきましても皆様がおっしゃったとおりでございまして、本当に皆さん積極的に協力していただけたと思っておりますので、その結果が来月には報告いただけるということで楽しみにしております。

PRにつきましても、子育てふれあいカフェには、私は出られなかったんですけれども、反町委員が提案してやられたイベントとかは多分中原区オリジナルなものかなとも思いますので、そういったところをしっかりとPRしていただけたらいいのかなと思っております。ありがとうございます。

反町委員 アンケートの感想は、たくさん子どもがいるんだなという印象でした。大勢いらっちゃって。でも、皆さんにアンケートしたらどのくらい時間がかかるんだろうって最初思ったんですけれども、皆さんすごく参加していただいて、でも、ちゃんと終わるといいうか、寒い中でしたけれども、子どもたちとも遊んで楽しくできましたと思います。

アンケートもそうですし、皆さんに出していただいたイベントとして行った子育てふれあいカフェもすごくいい形でできたと思っています。そういうイベントを通して、中原では子育て世代の皆さんと今回区民会議で子育て応援ということでやりましたが、すごく大切なことだと思っておりまして、そういった方々を含めての交流というか、地域コミュニティですとかというのは本当に大切なことで、今後粘り強く、継続的に取り組んでいかなければいけないことだと思っています。そういうのをやる上で、アンケートとかイベントを通して、実際のそういう世代の方たちと直接交流が持てたということが自分の意識とかモチベーションを高めるところでも非常に有意義であったと思っております。

区民会議交流会の方は、委員長の言葉で言っていただけるということですので、それだけで十分だと思います。

寺岡委員 子育てに関しては各委員の方がおっしゃったので、私も同じ意見なので、あえて申しません。

今度幸い7区の方がおいでになるので、そこでちょっと審議なり、お話ししていただけたらいいなと思うのは、川崎で優良商品なんかの認定とか表彰をやっておりますね。そういったものとか、川崎ブランドという格好で認定をして表彰されるといったところは非常にいいんですけども、それから先のアクションが余りないように思うので、こういう点をぜひひとつこういう場でお話しいただいて、やはり認定とか表彰されたものに関して、もう少し川崎市としてバックアップをしてほしいなと思っていますので、そういうことを一言発信していただけたらありがたいと思います。

鈴木委員長 わかりました。

富岡委員 子育てアンケート、本当に楽しかったです。親子で拒否する人は余りいなくて、喜んでアンケートに参加していただきまして、小さい子がおもちゃで遊んでいて、もうおもしろくて帰らなくなってしまう。そうやって一緒に遊んでいるのも本当に楽しかったです。そういうことで本当にいいことができたなと思います。その結果がまた楽しみでございます。

ウッドデッキで行われました子育てカフェ、私はどういうものかななんて思っておったんですが、とてもよかったですね。すばらしかったです。お母さんたちは腰を落ちつけて、なかなか帰らないような状況で、ああいうのが本当にうれしいのかなと思った次第でございます。

交流会ですね。いつか新しい方の市民館でやったときに見学に行ったんですが、やはり鈴木委員長がおっしゃってございましたように中原区の内容が一番よかったです。そういうわけで中原区は充実しております、すばらしいと思います。このまま続けていっていただきたいと思います。

区民祭で、先ほどの40周年でテントでやりたいという気持ちはあるんですけども、皆さん本当に忙しい。私も社協と民生委員児童委員協議会と保護司会で、テント、ブースでやっておるわけです。音楽パレードも参加しております、区民祭で音楽パレードもいいのかと思いますけれども、やはり体は1つなもので、いろいろなところに行けないのが問題ということでございます。

以上、よろしく願いいたします。

藤嶋委員 子育てのお母さんも本当にみんな若々しくて、きれいで、そして赤ちゃんもかわいくて、本当に和やかないい思いで帰ってきました。楽しかったです。

前に区役所主催の市民館でありましたシンポジウムの際に、1人の方が、コミュニティとか、いろいろな英語を使って、自分はちんぷんかんぷんでちっともわからないと言う

んですね。コミュニティとかそういうことはいいんですが、今回の「世代をこえて人がつながるなかはらー未来に夢と希望を託してー」って、本当に日本語だけなものですから助かりますが、余り難しい言葉、使わない言葉より、易しい言葉で、みんなで仲よく話し合おうとか、もっと楽しいこうとか、そのようなことでいいのではないかなと思います。

松原委員 私は参加できませんでした。申しわけないと思っております。

ただ、中原区の子育てというのは、お母さんたちが一生懸命だということですね。核家族なんて言われていますけれども、こういう情熱を中原の子育てにPRできればなと思っております。

松本委員 やはりお母さん方に、例えば電子とか紙とかの媒体ではなくて、じかに生の人間が声をかけて、アンケートをお願いしますといったところが、お母さんたちにとっても、中原ってすごく子育て応援にみんな関心を持っているんだなというようなイメージにつながったのかなと思いました。

区民会議で毎回会議のたびに宿題が出されるんですが、その宿題をするたびに、ああ、自分は委員なんだというふうに新たに自覚をして、気合いを入れるところが中原区の……。それで本会議に臨むというのがとてもいいスタイルだったなと思いますので、ぜひPRをお願いいたします。

鈴木委員長 わかりました。

村山委員 子育てアンケートについては、中原区は改めて若い世代が多いんだなと認識しました。中には再開発のマンションの方もまじっていたりして、本当に若い世代の多い中原区ということのを再認識した次第です。

もう1つ、今度は周りの住民の方、ある商店街の方に聞かれたんですが、再開発のマンション名も全くわからないと言われてまして、意外と周りの方が知らないということもあるので、何らかの形でそういうマンション名がわかるような冊子を考えていこうかなと思っています。

矢野委員 子育てのアンケートなんですけれども、日ごろアンケートを書いても、願うのは初めてだったものですから、ちょっと戸惑いました。皆さんもおっしゃられたようにかなりの確率で書いていただけたというのが実感です。

ただ、私ども川崎委員と松本委員と村山委員とで行ったんですけれども、1歳半の子の健診が対象だったので、後で反省したんですけれども、結局お兄ちゃん、お姉ちゃんが大体ついてきてしまうとなると、お母さんが書いている。1歳半ですと、まだあまりうろちょろもしないですし、じっとしているんですけれども、やっぱりぐずったり何かというのがあったりしましたものですから、その反省を踏まえて、次のときには松本委員が絵本を持ってきて、ずっとお相手してくれていたんです。私どもはつかまえに行くだけで済んだんですけれども、そういったことで、キャリアのある方がいらっしゃったものですから

比較的うまくいったのかなと思っています。

それと、通常アンケートを書きますと、何かティッシュの1個くらい配って云々とか言ったら、2回目のときにはぬれティッシュを行政のほうから持ってきていただいて、皆さんにお配りするような形になりました。ちょっと上の子がいる方へのアンケートは、この上の子がまたもてあましてしまうんですね。もう2歳か、3歳か、知らないけれども、しようがないから、最初の子はその子にも紙を渡して、ここへ書いていいよと言って、3歳の子のアンケートも中にまじっていたかと思います。

そんなことで、久々に小さい子の相手をしたといいますか、楽しかったというか。中には、ちょっと気になりましたのは、中原とはいえ、遠い方もいらっしやると、もう夕方近くになってきたときには、いや、もう時間がないのでというようなお帰りになられた方もいらっしやったなという感じがしています。こういうのをやるとき、ちょっと考えが及ばない中でいきなりスタートしてしまったかなというのが1つ反省かなと思っています。

交流会のほうはもう委員長にお任せの話でやっていただければと思っていますので、どうぞよろしくをお願いします。

山川委員 アンケートには参加できなくて、済みませんでした。

子ども会の宣伝をいたします。24年度、60周年になります。それに向かって子ども会の内部を今やっている最中でございます。ひとつよろしく願いいたします。

鈴木委員長 せっかく皆さん出ていただいたので、皆さんのご意見をやはりお聞きしたいというのがこの会議でございます。それでは、杉野副委員長も手短かにお願いします。

杉野副委員長 声をかけることの難しさですね。私がこういうことを覚えたのは、やっぱり毎週月曜日に小学校の前であいさつ運動をやったんです。そうすると、小学生に声をかけること自体も非常に難しい中で、だんだんなれてきまして、最近はよく保育園の方がお子さんを連れて、こうやって手を振ったりこういうことが平気になってきたということです。こういうことから世代間交流もますますよくなってくるのではないかと考えております。

ありがとうございました。

川連委員 私は一応アンケートに何回か出席させていただきましたけれども、もう終わってしまったことだから文句も言えないんですけども、寒さでお母さん、子どもさん、風邪でも引いたら困るなって、そればかり私は考えていたんですよ。ですから、こういうアンケートなんかをとるときは、もう少し季節のいいときをねらってやったほうがいいと。それはもう本当に痛感したものですから、アンケートをとって、結果待ちなんですけれども、楽しみにしております。よろしく願いいたします。

鈴木委員長 ありがとうございました。子育てアンケート、本当によかったですね。私も最後のほうは上の子のために本を読んでしまっ、すっかり読み聞かせおばさんになってしましまして、子どもたちが帰らないって言うんですよ。いや、本当に困りました。で

も、すごく楽しかったです。ああ、もうすぐ自分もばあばになるのかななんていうような、とてもいい気持ちでした。

それでは、一応これで終わらせていただきますが、先ほど挙手された方、505号室に残っていただけますか。日程だけちょっと決めてしまいたいんです。皆さん、5月13日なんて言っただのんびりしていたら大間違いですよ。あっという間に5月なんて来ます。すぐ来ますので、もう今から日程を決めて攻めていかなければ成功しませんので、残っていただきますようにお願いします。

6 閉会

鈴木委員長 本日は、本当に皆様の忌憚ないご意見をたくさん聞かせていただきましてありがとうございました。副委員長ともどもスムーズに進行ができましたことを心よりお礼申し上げます。

ありがとうございました。(拍手)

午後4時55分 閉会